

## 新型コロナウイルス感染症の予防ガイドライン

姫路工学キャンパス新型コロナウイルス総合対策会議

新型コロナウイルス感染症の拡大に際し、学生個人が、感染症の予防と感染拡大防止の必要性について認識し、自身の健康と安全を確保しつつ感染拡大の危険を高めることがないように、以下のとおり注意喚起します。

### 感染した、PCR 検査を受ける、体調不良の場合の連絡

#### 1. 濃厚接触者に特定された時、PCR 検査を受けることが決まった時、体調不良時

下記に連絡をして事後の対応に関する指示を受けてください。

※ 大学が許可するまでは入構してはいけません。

※ 学内での急な発熱や体調不良時は直接保健室に来ずにまずは電話をして下さい。

【学生】①学部 1～3 年生： 学務課（保健室）へメールまたは電話で連絡（学務課 079-267-4819）

電気電子情報工学科の学生：[abs-L@eng.u-hyogo.ac.jp](mailto:abs-L@eng.u-hyogo.ac.jp)（保健室 079-267-4820）

機械・材料工学科の学生：[abs-K@eng.u-hyogo.ac.jp](mailto:abs-K@eng.u-hyogo.ac.jp)

応用化学工学科の学生：[abs-O@eng.u-hyogo.ac.jp](mailto:abs-O@eng.u-hyogo.ac.jp)

②卒研究生、大学院生： 所属研究室教員を經由して学務課（保健室）へ

#### 【教職員】

③教員： 各専攻長、総務課、保健室にメールで報告

研究費等での雇用者は、所属研究室の主宰教員を經由して総務課へ報告

④職員： 総務課職員 経営部次長へ

学務課工作課職員 学務課長へ

（キャンパス代表 079-266-1661、夜間休日 080-2401-9779）

#### 2. 濃厚接触者に特定されたとき

学校保健安全法に基づく出席停止対象とし、保健室が毎日の健康観察を実施します。

濃厚接触者と特定されたら、検査の結果が陰性であった場合でも 2 週間の観察期間が指示され、他人との接触ができなくなります。

#### 3. 感染者等への配慮

体調不良による欠席者や感染者、濃厚接触者に対して、不利な扱いをしないよう配慮します。

※指定のところに連絡をした者に限ります。

### 日常生活における衛生管理

#### 1. 体調管理

毎朝の検温と体調の確認を習慣としましょう。

発熱や咳、だるさなど体調の不調を感じた時は外出しないでください。

#### 2. 石鹸と水道水による手洗いとうがい

石鹸を使用し、30 秒以上の水道水による手洗いと、うがいを励行しましょう。

#### 3. 手指の消毒の励行

手洗いができない時は消毒用アルコールを使用してこまめに手指を消毒しましょう。

#### 4. マスクの着用

原則として飲食時以外はマスクを着用しましょう。

マスクを外している間、会話は控えましょう。

マスクは隙間を作らず鼻を覆って正しく着用しましょう。

#### 5. 咳エチケット

他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖等を使って口や鼻をおさえましょう。更に周囲の人から顔を背け、できるだけ離れるようにしましょう。

#### 6. 部屋の換気

30分に1回以上、数分間程度、窓を全開し、換気を心がけましょう。

※空気の流れを作るため、2方向の窓（またはドア）を開けることが大切です。

#### 7. ソーシャルディスタンスを保つ

対人距離の確保（2メートル程度の距離を保持することが望ましい）を心がけましょう。

#### 8. 行動の自粛

混雑している場所には出かけるのは控えましょう。

多人数が集まることや、近距離での会話や身体接触を伴う行為、長距離の移動は固く禁止します。

（例：宴会、会食、下宿に集って一緒に勉強、友人の下宿に宿泊、カラオケ、ボーリング、旅行）

#### 9. 行動の記録

万一感染した場合に備え、感染経路が特定できるよう行動の記録に努めましょう。

また、一定時間対面で会話した人の名前も記録しておきましょう。

#### 10. 電車・バス等の車内でのマナー

マスクを着用し、混雑している車内（座れない人がいる）での会話は控えましょう。

#### 11. 清掃・消毒

トイレ・洗面所・浴室など共有して使用する場所やPC、携帯電話等の消毒と清掃を心がけましょう。

### **通学（通勤）・入構にあたっての遵守事項**

#### 1. 通学路のマナー

通学中のバス内での会話は控えてください。

友人と一緒にいる場合でも一定の距離を保ち歩くようにしてください。

#### 2. 入構時のマスク着用・確認

必ずマスクを着用してください。着用しない場合は入構をお断りします。

#### 3. 入構時の手指の消毒

大学は、各号館入口や学内各所に消毒液を設置していますので利用してください。

#### 4. 起床時の体調確認

必ず朝検温し、発熱や咳の症状がある場合や体調の不調を感じる場合は入構しないでください。

なお、発熱や咳の症状がある場合や体調の不調を感じた場合は外出を控えてください。

#### 5. 名札ストラップの着用

研究室配属の学生及び教職員は、名札ストラップを常に首から下げておいて下さい。

※研究室学生（黄色）、教職員（黒色、一部赤色）

#### 6. 座席番号の記録

感染者もしくは濃厚接触者になった時に、行動履歴を明確にするために食堂や教室で使用した座席番号を控えておいて下さい。

#### 7. 目的場所以外には立ち寄らないでください。

## 学内における基本的な衛生管理等

### 1. 窓口における飛沫感染防止

大学は、飛沫感染防止対策として窓口にパーテーションを設置しています。  
職員は、マスクを必ず着用して対応します。

### 2. 学生食堂の過密防止とマナー

食堂には、パーテーションの設置と使用できる座席の制限をします。  
利用の際は椅子を移動させず、ソーシャルディスタンスを保つよう心がけてください。  
食事中の会話は感染リスクが高いとされています。食事中の会話は控え、食後の会話はマスク着用をお願いします。また、食堂内の過密防止のため短時間での利用としてください。  
毎日教員が巡回しています。

### 3. 学内指定場所での飲食時のマナー

友人と一緒にいる場合は、ソーシャルディスタンスをとって座り、食事中的の会話は控え、食後の会話は必ずマスクを着用して下さい。

### 4. 学内移動（歩行）時のマナー

構内での移動の際にもマスクを着用し、会話は控えてください。  
ソーシャルディスタンスを保つよう心がけてください。

### 5. 授業

教室や実験室の入口に消毒用のアルコールをおいています。入室前に必ず手指を消毒してください。  
教室や実験室への入室後は、授業開始前や休憩時間であっても、適度な距離を確保し、マスク着用、咳エチケットを遵守してください。  
熱中症等にも注意し、こまめな水分補給を心がけてください。  
※受講時も原則としてマスクを着用し、水分補給等で外す場合は手元にハンカチやタオル等を用意し、咳エチケットを心がけてください。  
教員の指示により室内の換気に努めてください。

### 6. “3密”の回避

人が多く集まり、飛沫感染の恐れが高いイベントや行事の開催をしてはいけません。  
また、換気等の面で安全が十分に保障できない施設は使用禁止とします。

### 7. 休憩時間、授業終了後等

休憩時間や授業終了後の気の緩みやすい場面では感染リスクが高まる場合があります。  
授業が終了したら、友人の下宿や飲食店に立ち寄ることなく、自宅に帰宅しましょう。

## その他

大学施設の使用方や授業について、変更がある場合がありますので、大学HP、ユニバーサルパスポートを注視して下さい。